

ようやく涼しい風が吹き、過ごしやすい気候となりましたね。先月の運動会では、日々「今日は何の運動会するの?」「お野菜ダンス違うクラスの友だちにも見てもらいたいな」「ぞう組さんと一緒に運動会やりたいな」とその日に行く活動に期待を膨らます姿や、お家の方と一緒に運動会の日を心待ちにし、当日はいつもより張り切ったり、ドキドキしたり、キラキラ輝く笑顔を見せてくれたりと、それぞれにいろいろな表情を見せてくれた子どもたちでした。初めての運動会を経験し、「楽しかった」と伝える姿にまた一つ成長を感じています。これからも、友だちや保育者と一緒に様々な経験をする中で共に過ごせる喜びを感じながら過ごしていきたいと思っています。

今月は秋の遠足があります。初めてバスに乗って出かけることや、お弁当を園外で食べることを楽しみにしている子どもたちです。公共の施設でみんなが心地よく過ごす為の約束と一緒に確認したり、秋の自然をたっぷり感じたりしながら過ごしたいと思っています。また、収穫感謝礼拝では、豊かな恵みを与えてくださった神さまに感謝して礼拝の時を持ち、いつもお世話になっている方々へ折り紙で作った手作りのカードを感謝の気持ちとともに届けに行きたいと思っています。そして、18日(月)からクリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。アドベントカレンダーやお家の方へのプレゼントを作ったり、イエスさまの降誕の話を聞いたりして、嬉しい気持ちで待ち望みたいと思っています。

この1か月の間に季節が急激に進み、すっかり秋になりました。先月は楽しみにしていた運動会を迎え、頼もしい姿や楽しむ姿を見せてくれました。パラバルーンでは『みんなで力を合わせること』、運動遊びは『挑戦する気持ち』、かけっこでは『一生懸命走ること』を大切に取り組んできました。毎日『たのしい!』という気持ちが溢れている姿がとても印象的で、いろいろなことに積極的に取り組む子どもたちの姿に成長を感じました。友だちと同じ目標に向かって取り組んだ経験をこれからの活動にも生かしていきたいと思っています。

今月は収穫感謝礼拝があります。神さまがくださった豊かな恵みに感謝し、日頃お世話になっている方々へ心を込めて作ったカードを届けたいと思います。染め紙や落ち葉スタンプなど、初めての造形遊びを楽しみながらカードを作りました。秋のバス遠足は、豊かな自然に囲まれて、元気に体を動かして遊んだり、様々な秋を見つけたりして、のびのびと楽しみたいと思います。

18日(月)より、クリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。礼拝の中で降誕のお話を聞いたり、アドベントカレンダーやクリスマスプレゼントを作ったりして、クリスマスを楽しみに迎えたいと思います。大好きなページェントに聖歌隊として参加できることをとても楽しみにしています。

ようやく秋らしい気候になりました。子どもたちは外で過ごす時間を楽しみ、金木犀の香りを嗅いだり、どんぐり集めをしたりと秋の自然に触れて過ごしています。10月は保育センターで迎える最後の運動会がありました。「お家の人がんばったねって言ってもらえた!」「また組体操したいね」と運動会の思い出について話す姿が見られました。運動会の取り組みが子どもたちにとって自信に繋がっていましたら幸いです。

また10月より、うさぎ・ひつじ・ぞう組を3つのグループに分けて活動する『縦割り保育』も始まっています。一番大きいクラスとして、年下の友だちに優しく声をかける姿が見られたり、一緒に活動する喜びを感じたりしている子どもたちです。引き続き11月も異年齢の友だちとの関わりを楽しんでいきたいと思っています。

11月は収穫感謝礼拝があります。今年の夏は暑さが厳しく、クラスで育てていたトウモロコシやサツマイモは思ったように実がならず、農家の方々の苦労や野菜を育てることの大変さを学びました。そのことを覚えながら、神さまの恵みに感謝したり、いつもお世話になっている方々に感謝を伝えるカードをグループの友だちと協力しながら制作したりしていきたいと思っています。

また、11月18日よりクリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。ぞう組ではクリスマス礼拝でページェント(聖誕劇)を行います。イエスさまのご降誕の出来事をお家の方や小さいクラスの友だちに伝えられるよう、クリスマスの話を深めながら、喜びをもって取り組んでいきたいと思っています。

制作コーナーで自由制作をしていた時のことです。

画用紙とセロハンテープを使って「こうやったら付けられるかな?」と試行錯誤していたAくん。

Bくん「テープでいっぱい留めてみたら?」
Aくん「そうだね、できないと思ったらできないかもしれないしね」

難しいと思ったことにもやってみようよとチャレンジする姿と友だちを励ます姿に成長を感じたひと時でした。



『まっかな秋』の歌をうたいながら、歌詞を覚えようとしていた子どもたち。

『まっかな秋によびかけている』ってどういうこと?と、2番の歌詞の表現に疑問を抱いていました。

『早く来てね』ってことなのかな? 『待ってるよ』ってことなのかな?と一緒に考えていました。すると…「じゃあ、『お〜い!』って呼ばないといけいないね!!」というアイデアが生まれ、その日以来2番の最後には「♪ま〜っか〜なあきに〜よびかけて〜いる〜

お〜い!!」と元気なかけ声が入るようになりました。



夕方の戸外遊びが終わり、部屋に戻る前に外で並んで待っている時のこと。西の空を見て子どもたちが話をしていました。

Aちゃん「雲がぼこぼこしてる!」
Bくん「あれはひつじ雲だね!」
Cちゃん「秋の雲だったんだね」
Dちゃん「太陽も、もうあんなところにあるね。木の下に入っちゃいそう」
Cちゃん「もう夜になっちゃうの? 早いね〜」

秋の空や日が短くなったことについてほのぼの話す姿にほっこりしました。

